

報道関係者 各位

2023. 2. 10
<配信枚数2枚>

肉肉学会・立命館大学食マネジメント学会・食総合研究センター共催肉肉カンファレンス
「我々はなぜ肉を食べるのか？ー我が国の歴史と精神、代替タンパク質から紐解くー」開催
日 時：2023年2月22日（水）13：00～17：30
開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

肉肉学会（全日本・食学会肉料理部門）、立命館大学食マネジメント学会および立命館大学食総合研究センターは、2月22日（水）に、肉肉カンファレンス「我々はなぜ肉を食べるのか？ー我が国の歴史と精神、代替タンパク質から紐解くー」を開催いたします。

人類は有史以前より、肉からタンパク質を摂取してきました。それは我が国においても例外ではありません。畜肉を食する習慣がひろまったのは明治以降ですが、肉食が禁忌であった時代でも、肉食が途絶えたことはありません。

現在、世界的な人口増加による食糧不足が懸念されており、今の生産方法では全人口の需要を賄うだけのタンパク質生産が困難な状況になっていると言われています。「次世代タンパク質」にも注目が集まっていますが、その議論の中心は植物性食品、代替肉、環境問題などの技術的な問題です。

本カンファレンスでは、私たちにとって肉食、そしてタンパク質の摂取とは何なのか、その精神的な意味を紐解き、より豊かな未来の食の在り方を議論します。

記

日 時：2023年2月22日（水）13:00～17:30
開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー）
対 象：どなたでもご参加いただけます。
参加費：無料
申込方法：<https://bit.ly/syoku230222> よりお申し込みください。
※当日参加可能
主 催：肉肉学会（全日本・食学会肉料理部門）、立命館大学食マネジメント学会、
立命館大学食総合研究センター

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学 BKC リサーチオフィス 食総合研究センター事務局 担当：森
TEL. 077-561-2802

別紙

【プログラム】 ※敬称略

13:00	開会挨拶	
13:05	導入	和田 有史 (立命館大学食マネジメント学部 教授)
13:20	<トークセッション 1> 「肉食の歴史を考える」	鎌谷 かおる (立命館大学食マネジメント学部 准教授)
14:00	「ジビエを狩る、食べる」	宮井 一郎 (リストランテ・コンテ オーナーシェフ)
14:40	休憩	
14:50	<トークセッション 2> 「新旧“二つの肉”が交差する 点を考える」	石川 伸一 (宮城大学食産業学群 教授)
15:40	「命をつなぐ食」	光永圓道師 (北嶺大行満大阿闍梨)
16:30	<ディスカッション>	話題提供:富 研一 (不二製油グループ本社株式会社 未来創造研究所)
17:20	閉会挨拶	原田 英男 (畜産環境整備機構・立命館大学・肉肉学会理事長)

※プログラム内容は変更になる場合がございます。

【立命館大学食総合研究センターについて】

2014年1月、立命館大学のBKC社系研究機構内に”食文化“の研究拠点として「国際食文化研究センター」を設立し、2018年4月からは、「食マネジメント学部」設置と時期を同じくして、同センターを発展的に改組し「食総合研究センター」として新たに出発しました。

本研究センターでは、食研究にかかわる多くの研究情報を収集し、センター内でさまざまな視点から研究活動を展開していくことで、グローバルな食文化の受容と理解、フードビジネスのイノベーション、少子高齢化社会の中での食育の展開など食にかかわる国内外の諸課題を解決することに寄与しうる食研究の世界的中核拠点の形成をめざします。